

## 第7章

# 環境保全啓発活動



## 第7章 環境保全・啓発活動

### —持続可能な社会を目指して—

私たちが、大量生産・大量消費・大量廃棄の活動により地球温暖化や生物多様性の損失といった地球環境問題につながっています。

環境を保全し、持続可能な社会の推進のためには、環境に配慮した行動やライフスタイルを実践、継続して行うことが大切です。

本市では、持続可能な社会の実現に向け、市民への環境保全活動・活動の啓発等を実施しました。

令和元年度は、クールチョイス普及啓発事業として環境教室やかたの環境講座を開催し、環境基本計画の推進など市民と協働の取組を推進しました。また、市役所の事務事業からの環境負荷低減については、平成28年度から独自のシステム(交野市環境マネジメントシステム:K-EMS)を運用しています。

#### 1. 環境教育

地球温暖化対策をはじめとする環境問題への対策は、市民一人ひとりの行動変容が求められます。環境とそれに関わる問題に気づき、関心を持つことから行動に繋がられるよう、各種事業を展開しました。また、大阪府立環境農林水産総合研究所生物多様性センター間との「おおさか生物多様性リンク」により、環境講座に活用を図りました。

##### (1) 夏休み環境教室

市民の児童を対象に、ライト付き手回し発電機の工作を通じてエネルギーについての体験学習を実施しました。

実施日:令和元年8月9日(金)

場 所:交野市役所別館3階

参加者:20名

講 師:環境衛生課

##### (2) かたの環境講座

自然とのふれあいの中から、環境の大切さ・貴重さに気づき、環境を守る行動への喚起となるよう、大阪市立大学理学部附属植物園と共催で5回開催しました。

第1回 「植物園で水辺の生きものを探そう」

日 時:令和元年8月23日(金)10:00~12:00

講 師:地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所

生物多様性センター 近藤 美麻 氏

受講者数:12名

第2回 「台風被害からの森の再生」

日 時:令和元年9月28日(土)13:30~16:00

講 師:大阪市立大学 准教授 植松 千代美 氏

受講者数:12名

第3回 「スパイダー・ウォッチング」

日 時:令和元年10月20日(日)10:00~12:00

講 師:追手門学院大学 名誉教授 西川 喜朗 氏

受講者数:25名



第4回 「転がる、動物の食べ残し」

日時:令和元年11月30日(土)13:30~16:00

講師:NPO法人やまと自然と虫の会 伊藤 ふくお 氏

受講者数:23名

第5回 「冬の植物園散策」

日時:令和2年1月18日(土)13:30~16:00

講師:福武 淑子 氏

受講者数:25名

(3)学校での環境教育

地球温暖化の現状について知り、考え、行動変容に繋げるための気づきの機会として、環境教室を実施しました。

実施校:交野小学校、長宝寺小学校

対象:4年生

日時:11月7、21日

協力:交野市環境基本計画推進会議

2. 環境基本計画の推進

環境基本計画の推進に関する普及啓発

ウォークラリーを開催し、299名の参加がありました。ウォークラリーでは、環境に関するクイズやゲームを実施する中で、里山を楽しんでもらい、環境についての啓発を行いました。また、公共施設見学は1回実施し、24名の参加がありました。

ウェブサイトの公開を通じて、交野市環境基本計画及び交野市環境基本計画推進会議について、周知を行いました。

交野市環境基本計画推進会議(交野みどりネット)と協働で4つの分野ごとに基本計画にあるプロジェクトを推進しました。

(1)自然環境分野

プロジェクト1「里山を知ろう・里山大好き」では、自然環境についての知識と保全活動の意義を周知するため、観察会を3回実施し、のべ47名の参加がありました。

プロジェクト2「実践!里山保全活動」ののでは、実践活動を38回行い、里山の整備・保全に努めました。のべ参加者は266名でした。

(2)エコ生活分野

プロジェクト2「やる気がでるエネルギーダイエット」では省エネを行う意義と実践に向けての講義として春~夏にかけてはみどりのカーテン、エコクッキングを実施し、のべ96名の参加がありました。みどりのカーテンについては公共施設2ヶ所で巡回写真展を行い、みどりのカーテンの取り組みをアピールしました。

(3)エネルギー分野

プロジェクト1「そらいけ!ソーラーパネル」に関する講座では、太陽光発電の仕組みを学習し、ミニ太陽光発電システムを組み立てることで、太陽光エネルギーについての知識を高めました。参加者は18名でした。

プロジェクト2「星のまち☆エコドライブ」の普及のために自動車運転についてセミナーを行い、ステッカーを進呈しました。参加者は20名でした。

#### (4)まちづくり分野

プロジェクト 1「自転車の似合うまち・かたの」では、市内を巡るサイクリングツアーを3回行い、自転車の安全・安心・楽しい乗り方の啓発活動を行いました。のべ参加者は72名でした。

### 3. 環境マネジメントシステムの推進

LAS-E(Local Authority's Standard in Environment:環境自治体スタンダード)に沿った環境マネジメントシステムを構築し、平成19年6月より運用を開始してきました。平成28年度からはこれまでLAS-Eで構築したノウハウを生かし、K-EMS(交野市環境マネジメントシステム)を導入しました。

本市事務事業における環境負荷の低減のためK-EMS運用し、温室効果ガス排出量の削減に努めました。

#### (1)会議・研修の開催

環境マネジメントシステムの円滑な運用を目的に、推進本部会議を2回開催しました。

実行責任者及び職員に対し、環境マネジメントシステムへの理解、取組内容の熟知、環境問題への理解等を目的に、研修を3回実施しました。

#### (2)監査の実施

環境マネジメントシステムの適正な運用を点検・評価するため、内部監査(自己監査)と専門家による外部監査(2次監査)を実施しました。

##### ○内部監査(自己監査)

実施日:令和元年9月17日～令和元年10月18日

##### ○2次監査

実施日:令和2年1月9日

対象部局 事務局

監査員 専門家2名

##### ○監査結果概要

交野市環境マネジメントシステムは、交野市環境マネジメントシステムマニュアルに従って、妥当であり、適正に運用され、有効に機能していることを確認できました。

#### (3)目標達成状況

K-EMSでは事務事業において排出される温室効果ガスの削減及び環境負荷低減のため、目標を掲げ、省エネルギー・省資源の取組を推進しています。令和元年度の目標及び結果は次のようになりました。

① 令和元年度 温室効果ガス削減取組結果一覧

温室効果ガス排出量については、平成 26 年度を基準として、令和 2 年度までに 5%削減することを目標としています。

項目	R1 結果	基準値 【H26 年度】	H26 年度 対比
電気使用量 (kWh)	13,772,123	14,180,522	-2.9%
ガソリン使用量 (ℓ)	55,341	57,294	-3.4%
軽油使用量 (ℓ)	58,252	67,632	-13.9%
灯油使用量 (ℓ)	11,274	168,152	-93.3%
LPG 使用量 (kg)	18,717	18,923	-1.1%
都市ガス使用量 (m <sup>3</sup> )	484,892	248,577	95.1%
温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	6,347	8,782	-27.7%

② 令和元年度 環境負荷低減取組結果一覧

項目	目標	R1 結果	基準値	基準値 対比
水使用量 (m <sup>3</sup> )	H32 年度までに H26 年度比 5.0%削減	143,744	157,929	-3.0%
廃棄物の排出量 (袋)	H30 年度より削減	37,509	31,518	1,070
コピー用紙の購入量 (枚)	H30 年度より削減	8,227,675	8,948,381	720,706
太陽光発電の設置数 (基)	H26 年度を基準として、H32 年度までに 3 基以上設置	0	—	既設置数 5
低公害車の導入量	H26 年度を基準として、H32 年度までに 10 台以上導入	3	—	既導入台数 14
環境に配慮した施策事業数	環境に配慮した施策・事業の数を前年度より増加	68	71	—